

3-3 在宅生活を支えるサービスの充実

現状・課題等

現状

- 在宅で生活する高齢者が安心して生活を継続するため、介護保険サービスの補完として市が独自に実施している一般施策において、様々なサービスを提供している
- 令和2年に新型コロナウイルス感染症が蔓延したことにより、一部事業を内容変更・中止

【主な一般施策サービス（抜粋）】

	事業名	単位	R1	R2	R3	R4
1	配食サービス	利用者数（人）	110	104	95	88
		延食数（食）	28,008	26,161	25,573	22,947
2	緊急通報システム	利用台数（台）	732	744	761	774
3	人感センサー安否通報システム	取付数（台）	5	0	27	30
4	認知症徘徊高齢者探知システム	利用者数（人）	45	48	56	63
5	おむつ代助成	延利用者数（人）	1,112	1,113	1,068	1,019
6	紙おむつの給付	延利用者数（人）	20,003	20,397	20,465	21,391
7	短期入所送迎費助成	延利用回数（回）	72	46	17	11
		延利用者数（人）	8	6	1	2
8	救急医療情報キットの給付	申請件数（件）	701	204	189	190
9	寝具乾燥（乾燥消毒）	延利用者数（人）	38	26	52	95
10	寝具乾燥（丸洗い/水洗い）	利用者数（人）	0/7	2/7	0/9	0/15
11	入浴券	交付人数（人）	33	29	25	27
12	ワンコイン入浴券	配布人数（人）	1,096	1,015	999	1,261
13	家具転倒防止器具等取付	取付件数（件）	1	4	7	7
14	敬老会	対象者数（人）	27,214	-	-	-
		参加者数（人）	1,314	中止	中止	中止
15	百歳訪問	対象者数（人）	39	-	-	-
		訪問者数（人）	14	中止	中止	中止

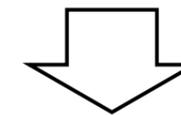
- 市が実施するサービスのほか、関連団体の独自サービスの実施を支援
- サービスの適切な利用・提供を促進するため、居宅介護支援事業者等を対象に説明会を実施
- 「中等度難聴者補聴器購入費助成」事業開始（R5.10～）

【高齢者の健康増進活動（抜粋）】

	事業名	単位	R1	R2	R3	R4
1	ふれあい給食事業	延利用者数（人）	3,159	0	68	1,027
2	老人クラブ	クラブ数（団体）	36	36	35	33
		会員数（人）	1,880	1,760	1,693	1,573
3	布田老人憩の家	個人利用（人）	7,264	1,924	1,051	3,807
		団体利用（人）	2,396	570	495	1,528
		浴場利用（人）	6,269	1,914	989	3,588
4	深大寺老人憩の家 （R4.4.30閉館）	個人利用（人）	5,961	1,766	1,029	264
		団体利用（人）	1,975	65	190	81
		浴場利用（人）	5,312	1,757	884	222
5	ふじみ交流プラザ （R4.5.16～開館）	個人利用（人）	-	-	-	4,097
		団体利用（人）	-	-	-	964
		浴場利用（人）	-	-	-	3,039

課題等

- 多種多様のサービスを展開するものの、サービスの認知はサービス利用者の一部に限定されている。サービスを必要とする方が必要なタイミングで適切にサービスを利用できるよう、家族介護者等を含めた事業内容の幅広い周知・工夫が必要となる
- 高齢者のニーズに応じたサービスを展開していくため、家族介護者等を含めたニーズの把握や事業の適切な見直しを図る必要がある



第9期計画での取組検討（案）

① サービス（くらしの案内～シルバー編～）の周知

市の独自サービスを網羅した「くらしの案内～シルバー編～」の周知については、引き続きあらゆる広報媒体や高齢者等が集まる場を活用して広報活動を行っていく。また、シルバー世代だけではなく、元気高齢者や介護する立場（子世代）の方にも手に取ってもらい、制度やサービス内容を理解してもらえるような周知方法を検討していく

【KPI：くらしの案内～シルバー編～認知度 30%（第9期計画期間中）】

② ニーズに応じた在宅サービスの充実

多岐に渡る在宅サービスについて、時代に即したサービスに限られた財源の中で効率的・効果的に提供されるよう、市民ニーズの把握に加え、利用が少ない事業の見直しや民間等で対応できる事業選定等に努めていく

③ 関連団体の活動支援

引き続き、市民に多様な活動の場を提供できるよう関連団体と連携・調整を図り、市内活動団体の活動を支援していく